

令和２年度公益財団法人静岡県文化財団事業報告

I 総括

令和２年度の財団活動は、年間を通じての新型コロナウイルスの感染拡大や特定天井改修工事の全館休館（令和２年９月から令和３年２月まで）による制約を受けた。こうした状況を踏まえ、県や地域と連携した上で様々な対策・対応を講じ、次の４つの基本を柱にグランシップ指定管理事業である企画事業、貸館事業、施設管理を適切に実施し、さらに各種文化振興事業を推進した。

また、静岡県文化プログラムのレガシーを引き継ぐ「アーツカウンシルしずおか」を令和３年１月に県庁内に設置し、令和３年度からの本格稼働に向け準備を整えた。

加えて令和３年度から５年間の運営・経営方針を示す「中期構想」を新たに策定した。

１ 上質で多彩をより身近に

- ・コロナ禍により多くの企画事業が中止・延期となった。しかし県内の文化の灯を絶やさないよう、感染症対策の徹底やオンラインの活用を進め、例えば三島市民会館での「オーケストラアンサンブル金沢名曲コンサート」開催直前での出演者やプログラム変更など、可能な限り開催方法を模索し、県内各地で公演開催を図ってきた。

２ 県民とのつながりと広域的な協働・交流

- ・県から受託事業である県内プロオーケストラと協働した「子どもが文化と出会う機会創出事業」は学校等での公演が中止されたものもあったが、開催校との協力により演奏を校内テレビで観覧するなど工夫を加え可能な限り実施した。
- ・県民参加型の催事である「トレインフェスタ」「音楽の広場」はグランシップでの開催は中止となったものの翌年度実施に繋げるため、ウェブ活用による事業展開を行った。
- ・「ふじのくに文化情報センター」では、コロナ禍で営業自粛を余儀なくされた県内の文化芸術活動を支援するため、「ふじのくに＃エールアートプロジェクト促進事業」を実施し税務・法律相談、活動支援等を行う事業やプロとして県内で文化芸術活動するアーティスト・団体への助成に取り組んだ。
- ・グランシップの施設利用ではキャンセルが相次ぎ、令和３年３月の再開後も予約申込が減少している。しかし、優先予約制度を活用し、全国規模の学会・大会の誘致を積極的に行った。

３ 安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化

- ・グランシップ利用促進と効率的な維持管理を進めるため、休館中に県の特定天井改修工事と連携し、展示ギャラリーの壁修繕や利用が多い会議室のカーペット貼替を実施した。
- ・グランシップ利用者の利便性向上と収入確保のため、休館中にウェブでの貸館利用者登録を導入するとともに、施設利用者の受付相談窓口をグランシップ３階から２階に移設した。
- ・自然災害の甚大化を踏まえ、南海トラフ地震や風水害を想定し、消防計画を見直した。

４ 働きやすい職場づくり

- ・育児や介護を理由に退職した職員の復職制度により、新たに職員１人が復職した。
- ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言時による在宅勤務の導入等、新しい生活様式に対応した働き方を推進した。

Ⅱ 事業概要

1 文化芸術の振興事業

(1) グランシップ企画事業

年間を通じてのコロナ禍により、中止・延期をせざるを得ない事業が多くあった。一方で子どもを中心に地域、世代、障がいの有無に関わりなく、幅広く県民が文化芸術に触れる場づくりのため、安心・安全の確保に努め、感染症対策の徹底、ウェブの活用等により、4つの戦略目標である、音楽を中心とした現代舞台芸術、伝統芸能、文芸・美術、子ども・子育て世代への支援の実現に向け、上質で多彩な鑑賞事業、県民参加型事業、教育普及事業、アウトリーチ事業に取り組んだ。

特に9月からの長期休館中には、より身近な場所で文化芸術に触れる機会を創出するため、県内の市町や団体との積極的な事業の連携を図り、芸術公演が少ない地域や学校での出前公演やアウトリーチを積極的に展開した。

【戦略目標別の内訳】※カッコ内は再掲・内数

戦略目標	事業本数	入場参加者数
① 音楽文化等の普及・振興	15 事業	15,175 人
② 伝統芸能の継承	11 事業	1,982 人
③ 文芸・美術等の振興	3 事業	358 人
④ 子ども・子育て世代への支援	4 事業 (16 事業)	99,862 人 (2,012 人)
合 計	33 事業 (16 事業)	117,377 人 (2,012 人)

【事業形態別の内訳】

方 針	事業本数	入場参加者数
ア 上質で多彩な鑑賞事業 ・国内外の上質で多彩な芸術を鑑賞する機会の提供	11 事業	3,316 人
イ 誰もが参加できる県民参加型事業 ・県民がステージに立つことのできる場の提供	6 事業	111,847 人
ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 ・文化芸術の素晴らしさを体感し、さらなる興味を持ってもらう機会の提供	8 事業	1,287 人
エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 ・普段文化施設に来られない、あるいは生の文化芸術に触れる機会が少ない地域や学校等での公演実施	8 事業	927 人
合 計	33 事業	117,377 人

① 音楽文化等の普及・振興（15事業、15,175人）（★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定）

ア 上質で多彩な鑑賞事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
1	【出前公演】 ～本と音楽の素敵な出会い～ 「マチネの終わりに」 ★☆	11/28 袋井市	人 260	ベストセラー小説を題材としたトークと演奏のクロスオーバー公演 出演:平野啓一郎他 会場:月見の里学遊館 曲目:パッサカリア(福田進一編)、幸福の硬貨 他
2	【出前公演】 グランシップ プレミアム・ クリスマス・ジャズ・ライブ 渡辺貞夫 ★☆	12/6 浜松市 浜北区	546	日本ジャズ界を代表する渡辺貞夫とホーン・セクションの共演 出演:渡辺貞夫他 会場:浜北文化センター 曲目:ONE FOR YOU、SONG OF MAY 他
3	【出前公演・共催公演】 グランシップ & 静響ニューイヤークンサート (2公演→1公演)	1/8 静岡市 葵区	724	地元プロオーケストラによる新春を祝うクラシックコンサート 出演:静岡交響楽団 会場:静岡市民文化会館 曲目:ベートーヴェン交響曲第6番「田園」他
4	【出前公演】 オーケストラ・アンサンブル金沢名曲コンサート (出演者変更) ★☆	1/24 三島市	174	国内有数のアンサンブル・オーケストラによる名曲コンサート 出演:オーケストラ・アンサンブル金沢他 会場:三島市民文化会館 曲目:モーツァルト交響曲第29番「長調」K.201(186a)他
5	【出前公演】 仲道郁代大作曲家のひみつ「ショパン」 ★☆	2/20 沼津市	243	ショパンをテーマに解説とピアノ演奏による公演 出演:仲道郁代 会場:沼津市民文化センター 曲目:幻想即興曲嬰ハ短調、ポロネーズト短調 他
6	【出前公演】 上野耕平×三浦一馬×山中惇史トリオ ★☆	2/23 長泉町	369	各ジャンルで人気・実力とも No.1 の若手トリオによるコンサート 出演:上野耕平他 会場:長泉町文化センターヘルフォーレ 曲目:JS バッハ「G線上のアリア」、ピアノ「フェノスアイレスの冬」
計	6事業		2,316	

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
7	グランシップ音楽の広場 2020 ★☆	7/5～8/31 WEB上	人 11,253	「グランシップ音楽の広場+（プラス）」として、メッセージ動画や オリジナル演奏動画等を公開 出演:広上淳一（指揮）、徳永二男（ヴァイオリン）他
8	グランシップ ビッグバンド・ジャズ・ フェスティバル 2020	8/9 大ホール	487	アマチュアビッグバンドによるジャズ・フェスティバル 出演:サ・スイング・ハート・オーケストラ他 曲目:In The Mood 他
9	【提携公演】※R1年度よりの延期事業 静岡県文化プログラム 2020 静岡県郷土唱歌を歌おう	3/21 大ホール	249	県文化プログラム県域プログラムによる県民参加合唱公演 出演:静岡交響楽団、音楽青葉会、静岡児童合唱団 曲目:合唱と管弦楽による「静岡県郷土唱歌」
計	3事業		11,989	

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
10	登録アーティスト事業 グランシップあおぞらコンサート(2公演)	5/30 芝生広場	人 216	緊急事態宣言解除後、初の登録アーティストによるミニコンサート 出演:大川美南(フルート)、田中亜希子(ピアノ) 曲目:おさんぽマーチ他
11	親子で楽しむロビーコンサート	6/13 7/11 3F 共通ロビー	93	誰でも気軽に楽しめるコンサート 出演:大石啓(ピアノ)、福本礼美(箏) 曲目:月光ソナタ他
12	【出前公演】 0歳から聴こう！ 楽しい音のひびきコンサート	11/14 掛川市	146	0歳児とその家族が気軽に楽しめるコンサート 出演:ALBOSトリオ、栗ポーンカルテット 会場:美惑ホール 曲目:くまのぼろの飛行他
13	【出前公演】 みんなのコンサート 音と絵の世界旅行	2/14 菊川市	158	大人も子どもも楽しめる、音楽とライブペインティングのコンサート 出演:ALBOSトリオ、近藤康平 曲目:月の光、ライオンキングオトリー
計	4事業		613	

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
14	【グランシップ子どもアート体験！】 登録アーティストアウトリーチ (特別支援学校 3、小学校 2)	9月～3月 沼津市 静岡市他	人 231	グランシップ登録アーティストによるアウトリーチ公演 会場:県立沼津視覚特別支援学校、松野小 他
15	上野耕平アウトリーチ (1校)	2/22 小山町	26	本公演に付随したアウトリーチ 県立小山高校吹奏楽部のレッスン 講師:上野耕平
計	2事業		257	

② 伝統芸能の継承(11事業、1,982人) (★中高生鑑賞プログラム対象、☆学生・子ども設定)

ア 上質で多彩な鑑賞事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
1	【出前公演】 人形浄瑠璃 文楽 (2公演) ★☆	10/11 焼津市	人 583	文楽協会による人形浄瑠璃公演 出演:人形浄瑠璃文楽座 会場:大井川文化会館ミュージコ 演目:昼「二人三番叟」「摂州合邦辻」、夜「本朝廿四孝」「釣女」
2	【出前公演】にっぽんこども劇場 浪曲わんだーらんど(2公演) ☆	12/19 掛川市	28	子どもたちが触れる日本の優れた伝統芸能(浪曲)公演 会場:大日本報徳社 出演:玉川奈々福 演目:浪曲シンデレラ
3	【出前公演】にっぽんこども劇場 寄席わんだーらんど(2公演) ☆	2/28 下田市	117	子どもたちが触れる日本の優れた伝統芸能(話芸)公演 会場:下田市民文化会館 出演:林家正蔵、三増紋之助、林家はな平
4	【出前公演】にっぽんこども劇場 能楽わんだーらんど ☆	3/27 御殿場市	159	子どもたちが触れる日本の優れた伝統芸能(能楽)公演 会場:御殿場市民文化会館 出演:武田祥照他 演目:殺生石
計	4事業		887	

イ 誰もが参加できる県民参加型事業 昼「二人三番叟」「摂州合邦辻」、夜「本朝廿四孝」「釣女」

該当なし

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
5	【出前公演】グランシップ 静岡能 能楽入門公演 ★	9/26 菊川市	人 365	初心者向けの能楽公演 出演:観世流能楽師 会場:菊川文化会館アエル 演目:田村
6	【出前公演】人形浄瑠璃文楽事前レクチャー 「山川静夫のここがみどころ・ききどころ ～文楽人形遣いにせまる～」 ☆	9/29 焼津市	135	文楽公演に連動した事前講座 ※開催日を変更 出演:山川静夫、吉田一輔、吉田玉翔、吉田褒悠 会場:焼津文化会館 実演:「艶姿女舞衣～酒屋の段」
計	2事業		500	

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
7	【グランシップ子どもアート体験！】 人形浄瑠璃文楽出前講座 (2校→1校)	7/1 磐田市	人 185	文楽協会の協力による文楽講座 講師:人形浄瑠璃文楽座 会場:竜洋中 実演:伊達娘恋緋鹿子～火の見櫓の段
8	【グランシップ子どもアート体験！】 狂言ワークショップ (2校→1校)	10/15 御殿場市	108	小学生向けの狂言教室 講師:三宅右矩他 会場:富士岡小 実演:棒縛
9	【グランシップ子どもアート体験！】 宝井馬琴監修講談教室(3校)	10/28,29, 11/12 伊豆市他	255	本県出身の6代目宝井馬琴監修の講談教室 講師:宝井琴星、宝井琴鶴 会場:熊坂小、白須賀小 他 実演:村越茂助左七文字の由来他
10	伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞文楽レクチャー 「人形浄瑠璃 文楽」入門講座	7/1 中ホール	35	文楽技芸員による文楽ミニ講義と実演を交えた講座 講師:人形浄瑠璃 文楽座 実演:伊達娘恋緋鹿子
11	伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞講談レクチャー 「宝井琴鶴の講談教室」	11/12 リハーサル室	12	講談師宝井琴鶴による講談教室 講師:宝井琴鶴 実演:那須与一 扇の的
計	5事業		595	

③ 文芸・美術等の振興（3事業、358人）（★中高生鑑賞ﾌﾟﾗﾝ対象、☆学生・こども設定）

ア 上質で多彩な鑑賞事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
1	【出前公演】 2020年しずおか連詩の会 ★	11/15 裾野市	人 113	本県ゆかりの詩人大岡信氏が提唱した連詩の創作発表 作品名:「天女の雪蹴り」の巻 出演:野村喜和夫他 会場:裾野市民文化センター
計	1事業		113	

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
2	令和3年につなげるための グランシップ誰もが Wonderful アート ワークショップ	8/29/,30 9/5,6 展キ'ャラ他	人 170	令和3年につなげるための貼り絵のワークショップ等 講師:福井揚 他
計	1事業		170	

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

該当なし

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
3	【グランシップ子どもアート体験！】 連詩をつくろう！ワークショップ (2校→1校)	11/6 河津町	人 75	しずおか連詩の会参加詩人による連詩の創作ワークショップ 講師:連詩の会参加詩人他 会場:河津町立南小学校
計	1事業		75	

④ 子ども、子育て世代の支援（4事業、99,862人、再掲…16事業、2,012人）

（★中高生鑑賞ﾌﾟﾗﾝ対象、☆学生・こども設定）

ア 上質で多彩な鑑賞事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
1	【再掲】【出前公演】 にっぽんこども劇場 浪曲わんだーらんど(2公演) ☆	12/19 掛川市	人 (28)	子どもたちが触れる日の本優れた伝統芸能(浪曲)公演 会場:大日本報徳社 出演:玉川奈々福 演目:浪曲シンデレラ
2	【再掲】【出前公演】 にっぽんこども劇場 寄席わんだーらんど(2公演) ☆	2/28 下田市	(117)	子どもたちが触れる日の本優れた伝統芸能(話芸)公演 会場:下田市民文化会館 出演:林家正蔵、三増紋之助、林家はな平
3	【再掲】【出前公演】 にっぽんこども劇場 能楽わんだーらんど ☆	3/27 御殿場市	(159)	子どもたちが触れる日本の優れた伝統芸能(能楽)公演 会場:御殿場市民文化会館 出演:武田祥照他 演目:殺生石
計	(再掲…3事業)		(304)	

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日 会場	入場 参加者	内 容
4	グランシップこどものくに	5/3～6 WEB上	人 1,104	「おうちでグランシップこどものくに」として、家の中でできる遊びを紹介した動画の公開
5	グランシップトレインフェスタ 2020	5/16,17 WEB上	98,584	「おうちでグランシップトレインフェスタ」として、Twitterに鉄道に関する動画や画像の投稿を呼びかけ
6	【再掲】令和3年につなげるための グランシップ誰もが Wonderful アート ワークショップ	8/29,30 9/5,6 展キ'ャラ他	(170)	令和3年につなげるため貼り絵のワークショップ等 講師:福井揚 他

計	2 事業 (再掲…1 事業)		99,688 (170)
---	-------------------	--	-----------------

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業)

	事業名	月日	入場 参加者	内 容
7	【再掲】 登録アーティスト事業 (グランシップ あおぞらコンサート)	5/30 芝生広場	人 (216)	緊急事態宣言解除後、初の登録アーティストによるミニコンサート 出演:大川美南(フルート)、田中亜希子(ピアノ) 曲目:おさんぽマーチ他
8	【再掲】 親子で楽しむロビーコンサート	6/13 7/11	(93)	誰でも気軽に楽しめるコンサート 出演:大石啓(ピアノ)、福本礼美(箏) 曲目:月光ソナタ他
9	【再掲】【出前公演】 0歳から聴こう!楽しい音のひびきコンサート	11/14 掛川市	(146)	0歳児とその家族が気軽に楽しめるコンサート 出演:ALBOSトリオ、栗ポーンカルテット 会場:美惑ホール 曲目:くまんばちの飛行他
10	【再掲】【出前公演】 みんなのコンサート 音と絵の世界旅行	2/14 菊川市	(158)	大人も子どもも楽しめる、音楽とライブペインティングのコンサート 出演:ALBOSトリオ、近藤康平 曲目:月の光、ライオンキング'ストレー
11	グランシップ文化講座 AI ~人工知能と脳、デジタルゲーム、 複雑系からみる未来~ ★☆	6/27 1001-1	73	最先端の科学技術や社会問題等をテーマとした講座 (講師オンライン出演) ※R1 年度より延期 講師:合原一幸、三宅陽一郎
12	グランシップ文化講座 宇宙のはじまりとブラックホール ★☆	3/28 1001,Zoom	101	最先端の科学技術や社会問題等をテーマとした講座 講師:佐藤勝彦(オンライン出演)、秦和弘
計	2 事業 (再掲…4 事業)		174 (613)	

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日	入場 参加者	内 容
13	【再掲】【グランシップ子どもアート体験!】 登録アーティストアウトリーチ (特別支援学校3、小学校2)	9月~3月 静岡市、 沼津市他	人 (231)	グランシップ登録アーティストによるアウトリーチ公演 会場:沼津視覚特別支援学校、松野小 他
14	【再掲】上野耕平アウトリーチ (1校)	2/22(月) 小山町	(24)	本公演に付随したアウトリーチ 県立小山高校吹奏楽部のレッスン 講師:上野耕平
15	【再掲】【グランシップ子どもアート体験!】 人形浄瑠璃文楽出前講座 (2校→1校)	6/30 磐田市	(185)	文楽協会の協力による文楽講座 講師:人形浄瑠璃文楽座 会場:竜洋中 実演:伊達娘恋緋鹿子~火の見櫓の段
16	【再掲】【グランシップ子どもアート体験!】 狂言ワークショップ(2校→1校)	10/15 御殿場市	(108)	小学生向けの狂言教室 講師:三宅右矩他 会場:富士岡小 実演:棒縛
17	【再掲】【グランシップ子どもアート体験!】 宝井馬琴監修講談教室(3校)	10/28,29, 11/12 伊豆市他	(255)	本県出身の6代目宝井馬琴監修の講談教室 講師:宝井琴星,宝井琴鶴 会場:熊坂小、白須賀小 他 実演:村越茂助左七文字の由来他
18	【再掲】伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞文楽レクチャー 「人形浄瑠璃 文楽」入門講座	7/1 中ホール	(35)	文楽技芸員による文楽ミニ講義と実演を交えた講座 講師:人形浄瑠璃 文楽座 実演:伊達娘恋緋鹿子
19	【再掲】伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞講談レクチャー 「宝井琴鶴の講談教室」	11/12 リハーサル室	(12)	講談師宝井琴鶴による講談教室 講師:宝井琴鶴 実演:那須与一 扇的的
20	【再掲】【グランシップ子どもアート体験!】 連詩をつくろう!ワークショップ (2校→1校)	11/6 河津町	(75)	しずおか連詩の会参加詩人による連詩の創作ワークショップ 講師:連詩の会参加詩人他 会場:河津町立南小学校
計	(再掲…8 事業)		(925)	

*参考 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した公演等

事業名	月日 会場	中止等
-----	----------	-----

グランシップ°世界のこども劇場 2020	5/5～6 中ホール	中止
----------------------	---------------	----

事業名	月日 会場	中止等
伝統芸能普及プログラム ＜教育普及事業＞歌舞伎レクチャー	5/14 静岡大附属島田中 5/18 駿河学院専門学校、 城南静岡中	中止
伝統芸能普及プログラム ＜大学連携事業＞歌舞伎レクチャー	5/18 映像ホール	中止
ふじのくに伝統芸能フェスティバル	5/31 富士宮市民文化会館他	R3.6.6 に延期 会場:長泉町文化会館ベルフォーレ ※R2.7.19 にグランシップ中ホールにて特別公演「夏越の奏 ～天の鼓～」を計画したが中止。関係者のみを対象とし、 県内民俗芸能団体の紹介を実施、入場者 36 人。
国立劇場歌舞伎鑑賞教室	6/23 中ホール	中止
【提携公演】 詩と舞踊と音楽の祭典 ～ふじのくにものがたり～	7/26 中ホール	R3.5.23 に延期、会場変更 会場:清水文化会館マリナート
【共催公演】 SPAC 忠臣蔵 2020	8/16 大ホール	R3.6.5-6 に延期、会場変更 会場:静岡県舞台芸術公園 野外劇場 有度
第 41 回学生音楽コンクール 2020 (本選)	8/16 中ホール	中止
NHK 交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズⅢ	8/22 中ホール	R4.3.6 に延期
宮城まり子とねむの木の子どもたち サマーコンサート	8/30 中ホール	R3.11.28 に延期
【出前公演】 カニサレス～情熱のフラメンコ・ギター～	9/11 焼津文化会館	中止
詩人と語ろう！ことばを語ろう！	10/4 三島市民文化会館	中止
ウィーン国際文化協会教育普及事業	10/15 浜松江之島高校他	中止
【出前公演】 シュトゥットガルト室内管弦楽団名曲コンサート	12/5 大井川文化会館ミュージコ	中止
【グランシップ子どもアート体験！】 玉川奈々福の浪曲教室	12/11,18 焼津南小学校他	中止
【出前公演】 グランシップ静岡能	1/24 菊川文化会館アエル	中止
【出前公演】 中学生のためのオーケストラ	1/25 三島市民文化会館	中止
仲道郁代常葉連続レクチャー	常葉大学	中止

⑤ 新たなグランシップファン獲得のための取り組み

ア 広報・宣伝の展開

広報対象に合わせた実施計画を立てるとともに、販売状況に即応した広報媒体を活用した広報・宣伝を展開した。なお、一部休館明けの令和 3 年 3 月にホームページをリニューアルした。

イ 若い世代等の取り込み

コロナ禍により若年層を始めとして、多くの人が文化芸術に触れにくい状況の中で、WEB 会議や電子チケットのシステム導入によるオンライン受講など、デジタル化への対応も含め、新たな鑑賞者層の獲得に向けた取り組みを行った。

ウ 中高生等への鑑賞支援策

子どものうちから上質で多彩な文化芸術に身近に触れる機会を提供するため、引き続き、各公演の学生チケット料金（28歳以下の大学生、子ども）を原則1,000円で設定した。

また、コロナ禍のため、中高生の芸術鑑賞を促進する中高生鑑賞プラン及び中高生芸術鑑賞支援制度による交通費支援及び県内の公立ホールと連携した「高校生アトラリー事業」の利用は低調だった。

○中高生鑑賞プランの利用状況

1公演、1校、24人

○高校生アトラリー

参加館数	対象公演数	チケット料金等
23 館	101 公演 (うち5割弱の公演が中止)	学生料金として1,000円から、 2,000円が大半

エ 県外への広報

「トレインフェスタ」、「音楽の広場」、「こどものくに」などのオリジナル性が高い静岡県を代表する事業がいずれも中止となったが、ウェブを活用した情報発信に取り組み、事業の認知度を高めた。

(2) 文化支援

「ふじのくに文化情報センター」は県内の文化活動を側面的に支援するとともに、グランシップ企画事業を活用した人材育成に取り組んだ。なお「アーツカウンシルしずおか」の本格稼働に伴い、令和2年度末で「ふじのくに文化情報センター」は活動を終了した。

① ふじのくに文化情報センター

文化支援の県域のセンターとして、県内各地で中核的に文化活動や文化支援に取り組む団体等との横断的なネットワークづくりを進めた。また、「ふじのくに文化情報フォーラム個別テーマ実践プログラム」に取り組み、交流と研修の場づくりの充実を図った。

ア 静岡県文化情報サイト「ふじのくに文化情報」の利用促進

文化芸術活動に取り組む人をはじめ誰もが利用しやすいサイトを目指し、コンテンツの充実を図った。また、登録された県内の文化芸術催事情報の一部を情報誌「GRANSHIP」にも掲載し、情報発信の多様化を図った。

○登録団体等・施設数 (令和3年3月31日現在)

文化団体	アーティスト	貸施設
315 団体	135 人	155 施設

○アクセス数（延べ数）

対象期間	表示ページ数	アクセス数
H2.4.1～R3.3.31	延べ1,454,951ページ	324,535 人

イ 総合相談窓口の運営

面接、電話、メールによる総合案内役として相談窓口を運営した。

相談件数	主な相談内容
56 件	助成、活動、事業の企画

ウ 交流と研修の場づくり

交流と研修・情報収集の場として開催する「こかげのまなびば」や「ふじのくに文化情報フォーラム」は、他会場利用やオンライン活用にて実施した。また、文化活動を支援するワークショップ「個別テーマ実践プログラム」の実施により、文化団体の交流の場づくりから活動の実践までの継続的な支援を進めた。

○ミニ講座「こかげのまなびば」

実施日	[グランシップ 開催] R2.6月から毎月2回（隔週水曜日等）18時30分～ ※グランシップ 休館中は除く [出張開催] R2.8.29（土）14時～ [動画配信] R2.5.20（水）、6.27（水）、7.10（水）
会 場	[グランシップ 開催] 1階大ホール南ホリエ、 [出張開催] 三島市民活動センター
概 要	・文化団体や中間支援組織、アーティスト等の講師と参加者が情報やアイデアを交換、交流する場 ・毎回のテーマは文化支援や地域の文化活動に関する事項 ・実施回数 グランシップ 開催 7回（参加者 150人） 出張開催 1回（参加者 19人）、動画配信 3回

○ふじのくに文化情報フォーラム

種 類	ふじのくに文化情報フォーラム in 三島	ふじのくに文化情報フォーラム in 浜松
実施日	R2.11.3（火・祝）	R3.2.20（土・祝）
会 場	三島市民文化会館大会議室	鴨江アートセンター
参 加 人 数	会場 14人、オンライン 9人	会場 18人、オンライン 10人
概 要	参加方法：会場参加及びオンライン参加（いずれも事前申込制） ・オリエンテーション ・トークセッション「転換点～文化は何に学ぶのか～」 ①ゲストによるエピソードトーク ②ゲストとのトークセッション ③参加者も交えたミックストークセッション	

種 類	ふじのくに文化フォーラム 2020 個別テーマ実践プログラム		
概 要	ふじのくに文化情報フォーラムに参加した文化活動実践者が取り組むプロジェクトについて、グループワークを通じて、課題分析や地域実態調査などを踏まえ、今後の活動計画づくりをする実践的なワークショップ 【3つのプロジェクト】 A「あなたの大切な記憶をアートの力でかたちに」 リーダー：青木三枝（おかえりの森） B「おとどけ劇場を定番化したい！子ども病棟や施設への寄付公演を軌道にのせ、オープンにしていけるには？」 リーダー：関根淳子（SPAC 俳優、劇団音乃屋）		
講 師	山浦晴男（情報工房代表）		
実施日	R2.10.10（日）	R2.11.7（土）	R2.12.5（土）
内 容	問題意識地図の作成 ・参加者 6人	資源写真地図の作成 ・参加者 8人	解決策地図と実行計画の作成 ・参加者 7人

エ 文化活動団体の顕彰等

県内の文化活動を発展、振興していくため、新たな地域文化の創造を目指し多彩で優れた文化活動団体を顕彰した。

○地域文化活動団体顕彰事業

募 集 期 間	R2. 8. 1 から 9. 30 まで
応募団体数	20 団体
選考委員会	R2. 12. 16 (水) (選考委員：学識経験者、文化関係者、当財団役員等 6 人)
受 賞 団 体	6 団体

	団 体 名	所在地
地域文化活動賞	古谿荘に親しむ会	富士市
奨 励 賞	上野演劇サークル「チョンマの会」 掛川市子どもの読書活動を考える会 次郎長翁を知る会 フィルハーモニックウインズ浜松	富士宮市 掛川市 静岡市 浜松市
努 力 賞	三島宗祇法師の会	三島市

オ ふじのくに#エールアートプロジェクト促進事業

県の新型コロナウイルス感染症緊急対策事業である「ふじのくに#エールアートプロジェクト促進事業」をふじのくに文化情報センター事業として実施した。

○相談事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、自粛を余儀なくされたアーティストや団体に対し相談窓口を設置し、税理士や中小企業診断士、弁護士等に税務相談、法律相談を実施するとともに、新しい生活様式に対応した活動に係る相談に応じた。

設置期間	R2. 7. 15 から R3. 3. 15 まで
相談件数	401 件
相談内容	助成制度、税務など運営関係、 新しい生活様式を取り入れた芸術文化活動 など

○助成金支援事業

県民に安心して文化芸術活動に親しめる鑑賞提供するため、県内でプロとして活動するアーティストや団体等が新しい生活様式を取り入れた文化芸術活動を実施する経費を支援した。

	第 1 次募集	第 2 次募集
募集期間	R2. 8. 1 ～ R2. 9. 30	R3. 2. 1 ～ 2. 15
申請件数	162 件	140 件
交付実績(交付決定)	57 件・51,623 千円	(52 件・49,602 千円)

② グランシップ企画事業を活用した人材育成

県内の公立文化施設職員の資質向上や交流を促進し、地域の文化活動団体、アウトリーチに関係する教育関係者、福祉関係者、文化行政関係者とのネットワークを強化するため「静岡県公立ホール連携支援研修事業」や大学生を対象としたインターンシップは、コロナ化で当初の計画を変更し実施した。

また、実演による文化芸術を県内各地で提供するため、グランシップ登録アーティストを育成して、県内公立文化施設、教育機関と連携しながら音楽アウトリーチを実施した。

	公立ホール連携支援研修	登録アーティスト アウトリーチ	インターンシップ
対 象	県内の公立文化施設職員	登録アーティスト、 未就学児・小学生等	大学生
期間・回数	R 2. 9～R 3. 3(8 回)	R 2. 5～R 3. 3(13 回)	R 2. 7～9(13 回)
参加人員	研修生 13 人、聴講生 5 人 延べ 135 人	登録アーティスト延べ 29 人、 未就学児・小学生等 844 人	8 人 延べ 79 人

さらに、財団が文化支援事業やグランシップ企画事業で培ってきたノウハウを活かして引き続き、県から受託した「子どもが文化と出会う機会創出事業」を県内のプロオーケストラと協働し、県内各地を巡る地域訪問プログラムや未就学児対象コンサートとして実施した。

	開催回数	学校数	参加者数
地域訪問プログラム	30 回	27 校	2,976 人
未就学児対象コンサート	24 回	—	2,615 人
計	54 回	27 校	5,591 人

*中止、変更は 13 回

(3) 文化プログラムに対する取り組み

① グランシップ文化プログラム

グランシップオリジナル文化プログラムとして、「トレインフェスタ」、「世界のこども劇場」、「音楽の広場」、「NHK交響楽団×野平一郎プロジェクトシリーズⅢ」、「宮城まりことねむの木子どもたちサマーコンサート」を計画していたが、いずれもコロナ禍により中止又は次年度へ延期となった。

② 関係機関と連携した文化プログラム

国、組織委員会、静岡県文化プログラム推進委員会との連携し、全県的なオリンピック・パラリンピックムーブメントの醸成に努めるため、東京 2020 参画プログラム及び静岡県文化プログラムに積極的に申請し、認証を受けた。

なお、県域プログラム「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」及び提携公演制度等を活用した「詩と舞踊と音楽の祭典『ふじのくにものがたり』」、「SPAC『忠臣蔵』」は、コロナ禍で令和 3 年度に延期となった。延期となっていた令和元年度の県域プログラム「静岡県郷土唱歌を歌おう」は、提携公演として取り組んだ。

	東京 2020 参画プログラム	静岡県文化プログラム
認証件数	15 件(うち 8 件中止・延期)	62 件(うち 25 件中止・延期)

③ 文化力プロジェクト環境整備事業

ア ふじのくに文化プログラム推進事業助成

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を機に、県内の多彩な文化芸術活動や「ささえる」活動を発展・継承し県内外に発信するため、文化団体に対して助成した。

また、団体補助の助成団体については、定期的な面談により、活動状況の確認と意見交換を実施した。

○事業補助

(単位：千円)

	補助団体名（所在地）	対 象 事 業 名	補助額
1	アートひかり（藤枝市）	「Japan Tea 物語」	300
2	うつろいの住処展実行委員会（御殿場市）	おやま豊門芸術祭「うつろいの住処」展	235
計	2 団体	—	535

※事業補助は 13 団体に交付決定をしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で 11 団体の事業が中止となった。

○団体補助

(単位：千円)

	補助団体名（所在地）	対 象 事 業 名	補助額
1	シズカオーケストラ（静岡市）	持続可能な団体運営のための新体制づくりと情報発信	225
2	NPO 法人伊豆学研究会（伊豆の国市）	文化財の調査担い手活動	225
3	浜松ジュニア・ユース邦楽合奏団（浜松市）	日本の伝統音楽体験による人材育成活動	225
4	アルテ・プレーサ（三島市）	新たな地域の文化創造～異分野と協働したアートプログラム開発と地域拠点検討～	225
5	富士の山びこ芸術祭実行委員会（富士市）	Fujinoyama ART HUB 運営計画	225
6	NPO 法人音楽の架け橋メッセ静岡（静岡市）	多世代にまたがる文化事業とまちおこし事業に関わるボランティアスタッフ確保のための調査事業と実践	225
7	うきうきプロジェクト（静岡市）	オペラ公演のためのスキルアップ勉強会	137
8	街カル実行委員会（静岡市）	文化講師&ものづくり作家への「活動の場」提供支援と情報発信事業	150
9	演劇ユニット FOX WORKS（浜松市）	多目的コミュニティスペース「Sketchbook Theater」運営及びメンバーのスキル養成	150
計	9 団体	—	1,787

事業・団体補助合計	11 団体	2,322
-----------	-------	-------

イ 本県の魅力掘り起こしと発信に係る事業

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、県民の共有財産として、後世に伝えていく書籍「しずおかの文化」を発刊し、県内図書館(大学を含む)、高校、特別支援学校、県内市町等に配布した。

書 籍 名	規 格	発行部数	執 筆 者
駿河と甲斐の蜜月時代がやってくる ～中部横断自動車道が描く 静岡と山梨の未来像～	四六判 本文 196 頁	1,000 部	・玉置実 ・「しずおかの文化」 編集部

ウ 次世代を担う中高生が文化芸術に触れる機会を創出する事業

文化プログラム推進するとともに、次世代を担う県内の中高生に、上質で多彩な文化芸術に触れてもらう機会を創出する事業である交通費支援制度は、コロナ禍のため利用がなかった。

2 アーツカウンシルしずおか運営管理事業

静岡県において、住民主体の創造的活動を促進するプラットフォームとして、社会の様々な分野の担い手による地域の活性化や社会課題への対応を目指した創造的な取組を支援するアーツカウンシル事業を令和3年1月より開始した。

なお、令和2年度は「文化芸術による地域振興プログラム」を募集し、助成金対象事業を選定するため、審査会を開催した。(助成対象事業は令和3年4月下旬決定予定)

助成の対象		助成金額 上限	助成率	応募 総数
事業区分	対 象			
地 域 はばたき 支 援	地域資源の活用や社会課題への対応を目指す先駆的な取組で、他地域や当該分野のモデルとして県内外に発信するプログラム	5,000 千円	助成対象経費の 4分の3以内 又は 2分の1以内 ※1	8 団体
地 域 かがやき 支 援	地域資源の活用や社会課題への対応を目指す先駆的なプログラム	2,000 千円		17団体
地 域 はじまり 支 援	地域資源の活用や社会課題への対応を目指す先駆的なプログラムの実施に向けた試行的な取組	300 千円	助成算定経費※2 の10分の10	10団体
計				35団体

※1 助成率上限

	プログラムの実施者	助成率上限
ア	非営利の民間団体・グループ(市町の外郭団体、公立文化施設の指定管理者、学校、公益法人、市町が加わる実行委員会等は除く。)	4 分の 3 以内
イ	上記ア以外の団体・グループ(企業、市町の外郭団体、公立文化施設の指定管理者、学校、公益法人、市町が加わる実行委員会等)	2 分の 1 以内

※2 助成事業の実施に要する経費から補助金、負担金、その他の収入（自己資金を除く）
を控え除した額のうち助成対象経費に該当する経費

3 グランシップ管理運営事業

施設の適正な維持管理及び貸館業務等の円滑な運営を通じて、学術・文化・芸術の振興と、国内外との交流を推進した。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、サーモカメラによる検温、入館者用消毒アルコールの設置、使用頻度の高い箇所の消毒・清掃の強化等安全の確保に努めた。

やむを得ず催事を中止する利用者に対しては、キャンセル期限を問わず返金するなど、柔軟に対応した。

・入館者数…39,417人

※開館(平成11年3月)以来の入館者総数 14,928,106人(令和3年3月31日現在)

○主要施設の稼働実績

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	ホール系計
稼働実績 A	30日	23日	27日	20日	48日	148日
利用可能日数 B	144日	139日	150日	148日	176日	757日
稼働率 A/B	20.8%	16.5%	18.0%	13.5%	27.3%	19.6%

※会議室、練習室等を含めた施設全体の稼働率は31.4%。

*新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセル日数等

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	ホール系計
キャンセル日数 C	43日	46日	8日	14日	15日	126日
キャンセル率 C/(A+C)	58.9%	66.7%	22.9%	41.2%	23.8%	46.0%

※キャンセル期限以降にキャンセルに応じたもの

○全国大会等のコンベンション開催状況

	開催日	催事名
1	7/4	星野聡子モダンバレエスタジオ30周年記念公演 三日月とクワッサン
2	7/18	株式会社アイエイ経営計画中間報告会
3	7/28	令和2年度静岡県製菓衛生師試験
4	8/15	静岡市戦没者を追悼し平和を祈念する式典
5	8/23	令和2年度第1回運行管理者国家試験(旅客)
6	8/26	国際シンポジウム「ポストコロナの国際経済、国際情勢」
7	8/29	第2回 SING Live 研究会
8	9/6	SHIZUOKA ダンスコレクション in2020

※上記以外に新型コロナウイルスの影響により、20件の催事がキャンセルとなった。

① 利用者サービスの一層の向上

サービスの向上を目指し、全ての利用者に対してアンケート調査を実施するとともに利用者会議を開催し、利用者ニーズを把握・分析し改善を図った。

また、弁当の手配やパーティー開催などの催事開催支援サービス（ワンストップサービス）では、利用者ニーズを調査し、提供するメニューの拡充に努めた。

○業務改善の推進

- ・受付相談窓口を、3階事務室からエントランスホール近くの2階エスカレーター横に移設
- ・館内施設の臨場感ある「360度ビュー」ウェブ公開による施設紹介
- ・ウェブ会議にも対応可能な大型モニターの導入や利用の多い演台・司会台等を更新
- ・展示ギャラリーの壁のリニューアル
- ・エントランスと会議室の照明をLED化し省エネと明るさ改善を実現
- ・利用者の意見が書かれた「使用結果報告書」における指摘事項の迅速な対応の徹底

○中小会議室（100人未満）

- ・従来、来館を要していた利用者登録手続きをホームページ上で受付可能とし、手続きの簡略化を実現
- ・ウェブを活用した中小会議室・練習室の予約率は59.2%を確保

○利用者会議の開催結果

開催日	R3.3.18（木）
場 所	グランシップ 904 会議室
参加者	イベント企画・運営事業者 5 団体 5 人
意見内容	館内のデジタル化の促進 等

○催事終了後のアンケート結果

回答数	1,137 件/1,493 件（回答率 76.1%）	
結 果	施設・備品が使いやすい	89.1%
	館内サインがわかりやすい	87.8%
	スタッフの対応が良い	90.6%

○催事開催支援サービスの内訳

分 類	サービスの内訳
飲 食	弁当、ケータリング、パーティー
設 営	音響照明等セッティング、看板、生花、会場設営
清掃片付け	レイアウト転換、ごみ処理
その他	コピー等事務サポート

② 積極的な営業活動

貸館の優先予約制度を活用し、全国規模の学会・大会の予約を積極的に受け入れた。また、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、電話・メール等による営業に重点を置いた。

③ 大規模催事の誘致

コロナ禍で対応が難しい中ではあるが、県内外のコンベンション等を誘致し施設利用の拡大を図るため、電話・メール等による営業を行い、するが企画観光局、ツインメッセ静岡、静岡市民文化会館等と連絡会を設け、誘致に向けた情報交換を行った。特に、ツインメッセ静岡とはコンベンション共同誘致の協定のもと、互いの催事情報を共有し連携を図った。

(2) 維持管理

① 安全・安心・快適な施設管理

グランシップ指定管理者として施設管理、警備、清掃、舞台技術の各業務の専門業者を配置し、適切に管理運営を行った。

令和2年9月から令和3年2月までの特定天井改修工事は、定例工程会議等により工事業者との連携を図り、工期通りに完了することができた。また令和3年3月からの一部開館に向けて、利用者に清潔かつ快適な状態で施設の提供を図るため、展示ギャラリーの壁の塗装や利用が多い会議室のカーペット貼替など、営業中には実施困難な館内修繕を工事休館に合わせ前倒しで行った。

② ユニバーサルデザインに配慮した施設運営

すべての来館者が、安心して利用できる施設とするため、防災訓練の中で、障害のある方への対応等、様々な来館者に対応するための研修を実施した。

③ 省エネルギーと環境負荷の低減

エネルギー監理員主導による効率的なエネルギーの運用を徹底するため、財団及び各常駐事業者等からなる「省エネルギー推進委員会」を毎月開催して、館全体で省エネルギーと環境負荷低減に取り組んだ。

なお、エネルギー使用実績は、新型コロナウイルスや工事休館の影響で、電気が対前年比で約7割、ガスが約4割の使用量であった。

○エネルギー使用実績

電 気	3,758,830 kwh
ガ ス	265,769 m ³
エネルギー総量	48,741 GJ

④ 賑わい創出

(公財)静岡市文化振興財団、静岡大学、県立美術館、静岡市美術館等が東静岡駅北側を中心に静岡市内各所を会場に協働で取り組んでいる「めぐりアート」と連携し、館内に作品を展示する「めぐりアート+ (プラス)」と、映像ホールを活用したレコードコン

サートにも引き続き取り組み、グランシップが親しみやすい文化振興の拠点としての環境づくりを進めた。

○めぐるリアート+（プラス）作品展示

展示期間	作 者	作 品 名
R2. 4. 18～9. 7	石上和弘	船に浮かぶ形/船が浮く形
R3. 3. 1～	乾 久子	ことばのまわり～船とゆく～

○レコードコンサート

開 催 日	回 数	参加者数
R2. 6. 19 / 8. 21	2 回	84 人

※コロナウイルス対策で人数制限実施。R 3. 3 月は感染拡大の防止のため中止。

⑤ 駐車場管理、自動販売機等管理

来館者サービスの向上を図るよう、適切・丁寧な駐車場管理を行った。また、館内設置の自動販売機・公衆電話等は、全館休館期間は工事エリア以外にて設置し管理運営した。
（自動販売機 15 台・公衆電話 3 台）

○収入実績

駐 車 場 収 入	9,263 千円
自動販売機等設置手数料	4,086 千円

(3) サポート組織

文化振興に関心があり、文化活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を図った。なお、文化情報業務はふじのくに文化情報センターがアーツカウンシルしずおかに移管されたため、令和2年3月末で終了した。

（令和3年3月31日現在）

業務区分	内 容	登録者数
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、来館者見学案内等	61 人
イ ベ ント	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	54 人
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	14 人
託 児	公演時の託児サービス等	7 人
文化情報	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」の運営等	18 人
計	（兼務 10 人を含む）	154 人

(4) 危機管理とリスクマネジメント

「火災・地震・風水害等の災害が発生した際の対応」を危機管理、また「前記以外の事故・故障・苦情・不審物等のリスクへの対応」をリスクマネジメントと定義し、それぞれの体制を確立して、来館者の安心・安全と信頼の確保に努めた。

① 危機管理

災害時における来館者の安全確保に万全を期すため、財団職員だけでなく、常駐委託業者スタッフも参加した防災訓練を実施した。また、発災時の迅速な初動態勢の確立のため、毎日の朝・夕礼時に自衛消防隊の編成を確認した。

消防計画の見直しを行い、南海トラフ地震臨時情報発令時や風水害時の市からの避難情報発令時の対策を盛り込んだ。

② リスクマネジメント

故障による機器類の停止等の回避・低減のため、消耗品の事前交換など適切な維持管理を行った。また異常・故障発生時には、来館者への影響を最小とするため、適切な応急措置を直ちに講じ、修繕を行うとともに、財団で実施できない修繕については、県へ迅速に報告し、指示を受けた。

新型コロナウイルス感染症対策については、消毒薬の設置や清掃頻度を増やし、注意喚起ポスターの掲示、財団職員及び常駐職員の健康管理の徹底を行うとともに、サーモカメラの導入や感染防止方針を制定し、更なる感染拡大防止及び館内衛生強化の対策を講じた。

4 グランシップ友の会

○入会状況（令和3年3月31日現在）

友の会個人会員数	11,680 人
----------	----------

※令和3年4月30日現在の個人会員数：11,699 人

	特別会員	一般会員	計
友の会法人会員数	4 社	18 社	22 社

5 文化財団法人運営

(1) 広報・宣伝

新聞広告や情報誌「GRANSHIP」、ホームページ等の自己媒体による情報提供をはじめ、ブログやモニター制度等の双方向性のある手段を組み合わせ、効果的な情報発信に取り組んだ。

① 広報調整会議の開催

財団、グランシップ全体の広報・宣伝計画を策定し、毎月1回、広報調整会議を開催し、情報提供時期、媒体等の効果的・効率的な情報発信に取り組んだ。なお、一方的な広報・宣伝だけでなく、県民や利用者の声を広く集め、運営に反映させるため、アンケートやモニター制度などによりニーズの把握に努めた。

② 多様な媒体、手段の活用

既存の媒体とインターネット等の新たな媒体を効率的・効果的に組み合わせながら、様々な世代に合わせた広報・宣伝に引き続き取り組んだ。

特に、情報誌「GRANSHIP」では、引き続き、県内の文化プログラムの取り組みや「地球環境史ミュージアム」「富士山世界遺産センター」の紹介ページを設け、地域の文化芸術活動情報を幅広く提供するとともにコロナ禍でのグランシップの取り組みを積極的に紹介した。

(2) 働きやすい職場づくり

① 人材育成

ア 契約職員の正規職員化等

平成 28 年度から正規職員への登用試験を導入している。

また、外部講師によるハラスメント研修を開催するなど職場環境の向上に取り組んだ。

イ 専門的人材の育成

職員が最新の専門知識、技術を習得できる機会を確保するため、全国公立文化施設協会主催の外部専門研修（2 年度はオンライン研修）に職員を積極的に参加させた。休館日に開催する財団内の職員研修では、財団事業計画や指定管理者事業計画を含めた財団の運営状況などもテーマに開催した。また、少人数の職員グループを編成しワークショップ的に職員それぞれの業務紹介や取り組み、課題などを話し合い、アドバイスなど意見交換を行うことで財団への理解が深まり、職員間のつながりも深まり、よい効果を得た。

ウ 効果的な評価制度の運用

勤務実績が優秀な職員に対し、特別研修（職員自ら、取得したい資格、鑑賞したい文化芸術催事、参考にしたい施設等を自由に選び計画したものに対し、財団が費用負担する）を実施した。

② 仕事と生活を両立できる職場づくり

ア 労働時間の適切な管理

労働法令及び労使協定を順守し、職員の出退勤の把握、時間外勤務の事前申請の徹底等、労働時間の管理を適切に実施した。新型コロナウイルス感染予防対策も含め、在宅勤務にも取り組んだ。

また、各々の職員が勤務時間を自己管理し、効率的に業務を進めることができるよう、職員研修等を通じて制度の周知、意識啓発を実施した。

イ 健康管理とストレスチェックの導入

職員の定期健康診断や人間ドックを実施するとともに、労働安全衛生法に基づくストレスチェックも自己管理に活かす手段として導入した。

ウ 育児・介護休業制度の適切な運用

法令改正に依拠した育児・介護休業等に関する規程に基づき、育児短時間勤務制度等を運用した。また、育児や介護を理由に退職した職員が復職できる制度を創設し、令和 2 年度から 1 人を再雇用した。

	育児休業	短時間勤務	遅出早出勤務
対象職員数	3 人	1 人	1 人

(3) 安定した財務管理

① 収入確保の取組

令和２年度は９月から２月まで全館休館の期間を活用して、全館リニューアルオープンに向け、利用者増による収入の確保を図るため、利用者サービスの向上や営業方針の見直しを行った。

また、緊急事態宣言期間を含む５月～６月には職員の勤務に休業日を設けて国の雇用調整助成金の交付を受けた。また、中止や変更となった企画事業については、（独）日本芸術文化振興会等の補助金の積極的な活用を図った。

なお、令和２年４月下旬から５月中旬の緊急事態宣言による臨時休館や感染拡大に伴う利用キャンセルに対する施設利用料の還付（返還）金は、県と協議の上、グランシップ指定管理料として補填を受けた。

② 執行調整会議の開催

常に財団の財務状況を把握し、適時適切な対応ができる体制を維持するため、毎月１回執行調整会議を開催し、各月の予算執行状況や光熱水費の推移を確認するとともに、月次決算及び上半期終了時の中間決算を実施した。

(4) その他の法人運営

○理事会等の開催状況

開催年月日	会 議	内 容	採否状況
R2	5 / 28 監事監査	- 令和元年度事業報告 - 令和元年度決算及び財産目録	—
	6 / 11 第１回理事会	- 令和元年度事業報告 - 令和元年度決算及び財産目録 - 令和２年度事業計画の変更及び補正予算 - 定時評議員会の開催	出席者の全会一致による可決 〃 〃 〃
	6 / 25 定時評議員会	- 令和元年度事業報告 - 令和元年度決算及び財産目録 - 令和２年度事業計画の変更及び補正予算 - 理事の辞任に伴う選任 - 評議員の辞任に伴う選任	出席者の全会一致による可決 〃 〃 出席者の全会一致による可決 候補者一人毎採決、全員可決
	12 / 7 第２回理事会	- 令和２年度事業計画の変更及び補正予算 - 公益財団法人静岡県文化財団組織規程等の一部改正 - 第２回評議員会の開催	出席者の全会一致による可決 〃 〃

開催年月日		会 議	内 容	採否状況
R2	12/18	第 2 回評議員会	・ 令和 2 年度事業計画の変更及び補正予算 ・ 公益財団法人静岡県文化財団役員の報酬等に関する規程の一部改正 ・ 公益財団法人静岡県文化財団評議員等選考委員会設置要綱の制定及び委員の選任	出席者の全会一致による可決 〃 〃
R3	3 / 5	第 3 回理事会	・ 令和 2 年度補正予算 ・ 中期構想 ・ 令和 3 年度新しい組織体制について ・ 諸規程の制定及び一部改正 ・ 令和 3 年度事業計画 ・ 令和 3 年度当初予算 ・ 令和 3 年度資金運用計画 ・ 第 3 回評議員会の開催	出席者の全会一致による可決 〃 〃 〃 〃 〃 〃
	3 / 17	第 3 回評議員会	・ 令和 2 年度補正予算 ・ 中期構想 ・ 定款の変更 ・ 令和 3 年度事業計画 ・ 令和 3 年度当初予算	出席者の全会一致による可決 〃 〃 〃 〃

○許認可及び登記の状況

登記日		内 容
R2	8/12	評議員、理事の辞任・就任登記

許認可なし

○基本財産の造成状況

令和 3 年 3 月 31 日現在

	基本財産造成額	備 考
県出捐金	600,000 千円 300,000 千円	S59 年度～61 年度 H4. 4. 1 文化振興基金取崩額 251,100 千円 県上乗せ分 48,900 千円
小 計	900,000 千円	
市町村出捐金	100,000 千円	S59 年度～S61 年度
寄附金等	1,710 千円	個人寄附 その他
基本財産造成額合計	1,001,710 千円	
基本財産時価評価額	1,045,182 千円	R 2 年度末 新会計基準による